

**製品名: BLBP ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab07574**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	15kDa

## 抗原情報

遺伝子名	FABP7 BLBP FABPB MRG
別名	Fatty acid-binding protein, brain (Brain lipid-binding protein) (BLBP) (Brain-type fatty acid-binding protein) (B-FABP) (Fatty acid-binding protein 7) (Mammary-derived growth inhibitor related)
遺伝子 ID	2173.0
SwissProt ID	O15540
免疫原	アミノ酸配列範囲: 80~132 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

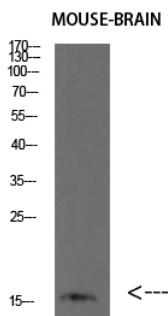
## 背景

この遺伝子は、長鎖脂肪酸やその他の疎水性リガンドと結合する小型で高度に保存された細胞質タンパク質をコードしています。このタンパク質は、発達中の脳における放射状グリア線維の確立に重要です。選択的スプライシングとプロモーターの使用により、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。この遺伝子の疑似遺伝子は複数の染色体上に存在します。[RefSeq 提供、2016年1月],ドメイン:内部に疎水性リガンドを収容するβバレル構造を形成します。機能:B-FABPは、中枢神経系の発達中に、潜在的な形態形成活性を持つ、これまで知られていない疎水性リガンドの輸送に関与している可能性があります。これは、未熟なニューロンが皮質層を形成するために移動するために必要なシステムである、発達中の脳における放射状グリア線維系の確立に必要です。類似性:カリシンスーパーファミリーに属します。脂肪酸結合タンパク質 (FABP) ファミリー。組織特異性:脳やその他の神経組織で発現します。

## 研究分野

PPAR;

## 画像データ



HEPG2 293T SHY5Y Jurkat ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は500倍希釈。二次抗体は1:20000倍希釈。